

・海外感染症流行情報 2024 年 9 月

(1) 全世界: COVID-19 の流行状況

欧米諸国や日本では 8 月に COVID-19 の夏の流行が発生していましたが、9 月に入り流行は収束傾向にあります(米国 CDC 24-9-23、ヨーロッパ CDC 24-9-20、厚生労働省 24-9-20)。ウイルスの種類としてはオミクロン株の派生型である KP 系統が世界的に流行しています(WHO corona 24-9-17)。なお、欧米諸国などでは冬の流行に備えた秋のワクチン接種が開始されますが、日本でも 10 月から高齢者を対象にした定期接種が始まります。

(2) 全世界: エムポックスの流行状況

エムポックスの流行状況には、ここ 1 ヶ月で大きな変化がみられていません(WHO Mpox 24-9-22)。重症化しやすい 1 型ウイルスの患者は、コンゴ民主共和国の東部やブルンジなどで引き続き発生しています。また、アフリカ以外でも、スウェーデン、タイ、インドで 1 型ウイルスの患者が確認されました。米国 CDC は、流行国への渡航者のうち、滞在先で性行為に及ぶ可能性がある者については、予防対策として天然痘ワクチンの接種を受けることを推奨しています(CDC Travelers' Health 24-9-23)。なお、このワクチンは日本では一般に流通していません。

(3) アジア: デング熱の流行状況

東南アジアや南アジアは雨期を迎えており、デング熱の患者数が増加傾向にあります(WHO 西太平洋 24-9-19, WHO 南東アジア 24-9-4)。患者数は全般的に例年並みですが、インドについては南部のケララ州やカルナタカ州で例年以上の数になっています。また、西太平洋のサモアやタヒチなどでもデング熱患者数が増えています。

(4) アジア: インド南部でレプトスピラ症が流行

インド南部のケララ州で、レプトスピラ症の患者が今年になり 2000 人近く発生しており、200 人以上が死亡しました(ProMED 24-9-18)。レプトスピラ症は細菌性疾患で、発熱、肝障害、腎障害などを起こします。ネズミが病原体を保有しており、その尿に汚染された水に接触するなどして感染します。今年にはケララ州で大雨が起きていることが、患者数増加の原因と考えられています。

(5)ヨーロッパ: 英国で麻疹が流行

英国では今年に入り麻疹患者が 2000 人以上発生しています (ProMED 24-9-14)。とくにバーミンガムやロンドンなどで多く、この地域では過去 10 年で最多となりました。同国では住民の麻疹ワクチンの接種率が低下しており、これが流行拡大の原因とされています。

(6)ヨーロッパ: 南部で Dengue 熱患者が発生

近年、ヨーロッパ南部では Dengue 熱の国内流行が夏季に起きており、今年もフランス、イタリア、スペインで発生しています。9 月中旬までに、フランスでは地中海沿岸を中心に 57 人、イタリアでは中部のアドリア海沿岸などで 25 人 (英国 NaTHNaC 24-9-19)、スペインでは南部のカタルーニャ地方で 5 人の患者が報告されました (ヨーロッパ CDC 24-9-13)。夏にヨーロッパ南部に滞在する際には、蚊に刺されない対策が必要です。

(7)北米: 米国で感染経路不明の H5N1 型患者が発生

米国では今年、鳥インフルエンザ H5N1 型ウイルスの感染者が 13 人報告されています。いずれも、このウイルスに感染した家禽やウシに接触した事例でしたが、9 月初旬にミズリー州で、動物との接触歴が全くない感染者が報告されました (米国 CDC 24-9-6)。この感染者は慢性疾患の悪化で医療機関を受診し、感染が判明したそうです。現在、CDC が感染経路などについて調査を行っています。